

# 情報リテラシーⅡ(デザイン学部)

必修 開講年次：1年次後期 科目区分：演習 単 位：1単位 講義時間：30時間

■**科目のねらい**：前期で学習したPhotoshop、Illustratorの基本操作を活用し、より実践的なデザイン制作を行います。グラフィックデザイン、エディトリアルデザインなど多様なデザイン実習を通じて、デザイン現場で活用できる基礎的な知識と技術を習得することが目標です。また、コンセプトを立てて表現の目的を明快にするプロセスを理解する力を身につけます。

■**到達目標**：①デザインに不可欠なソフトウェアをデザインツールとして自由に使いこなす実践的な能力を身に付け、あわせて関連する知識を十分に理解する。  
②デザインにおけるコンセプト立案から表現までの流れを理解し、提出課題としてまとめ、発表することができる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎吉田 和夫、児玉 潤二郎

■**授業計画・内容**：

第1回	オリエンテーション／Illustrator基本制作演習	児玉
第2回	//	//
第3回	Photoshop基本制作演習	//
第4回	//	//
第5回	発表と講評	//
第6回	Illustrator/Photoshop基本制作演習	//
第7回	//	//
第8回	発表と講評	//
第9回	意味の可視化1-動物の絵文字 (Illustrator)	吉田
第10回	//	//
第11回	発表と講評	//
第12回	意味の可視化2-絵漢字で伝える (Illustrator)	//
第13回	//	//
第14回	発表と講評	//
第15回	意味の可視化3-編集・レイアウトの基本 (Illustrator/Photoshop)	//

■**教科書**：使用しません。

■**参考文献**：『IllustratorとPhotoshopとInDesignをまるごと使えるようになりたいという欲ばりな人のための本』（エクスマレッジ）  
『考具 ―考えるための道具、持っていますか?』（阪急コミュニケーションズ）

■**成績評価基準と方法**：授業課題、出席状況、授業態度を総合的に評価します。課題の提出は必須条件です。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
授業態度	○	○	積極的な授業への参加姿勢 ※出席日数は授業への参加姿勢として勘案する	5
発表		◎	コミュニケーション能力	20
課題・作品	◎	◎	①ソフトウェアの操作技術 ②コンセプトと表現の整合性 ※①60%+②40%の比率 ※課題の提出は必須条件	65
出席			2/3以上の出席が必要	10

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：情報リテラシーI

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：Macintoshの基本操作やファイル管理について十分習得していることが望ましい。また、情報リテラシーIにおいて、Photoshop、Illustratorの基本操作を十分習得しておく必要があります。初回到授業内容や評価について説明します。